

公立大学生に新型コロナで修学支援金支給へ

持続化給付金 市も申請のサポート



新型コロナなどの影響で一か月の売り上げが、前年の年と比べて半分以下になったら、個人なら100万円、法人なら200万円（いずれも限度額）を受け取れる「持続化給付金」が大変喜ばれています。しかし、申請はオンラインでしかできません。商工会議所の入っているビルで申請のサポートをしていますが、新たに釧路市も申請のサポートを商業労働課で行うことになりました。これも村上議員の提案が実ったものです。

また、行政だけでなく日本共産党も持続化給付金の相談窓口を独自に設けることにしました。「うちは対象になるのか」「パソコンを使えないが、どう申請すればいいのか」など、お気軽にご相談ください。

教育大は総額5千万円の 支援策を行います

北海道教育大学でも、新型コロナによってアルバイトの収入が減った学生などに、緊急学生支援金を支給することになりました。

日本共産党は、さらに市立高等看護学院なども積極的に授業料の一律減額を行い、学生の修学を支援するよう提案しています。



村上かずしげ通信 06.07
発行 日本共産党市議団 23-5212

新型コロナの影響でほとんどの学生のアルバイトがなくなりました。国は、経済的に困窮する学生に10万円（非課税は20万円）を支給することにしましたが、対象となる学生はわずか一割です。

村上議員は、議員協議会で市独自に学生への一律の支援金の支給と、学費の軽減を求めました。

その後、釧路公立大学は在籍するすべての学生を対象に、修学支援金を支給すると発表しました。金額は授業料の減免を受けていない人は6万5千円、減免を受けている人は2万から5万円です。

小路学長は、「本学の修学支援制度は、全学生に対して支給するもので、公平性という点で、国の施策を補う優れた制度設計になっています。皆さんの生活と学習環境が、この支給によって少しでも改善されることを期待しています。」とコメントしています。

財源は、全額公立大学の基金から充当します。

＜具体的な学生への支援額＞

- 学費を全額払っている学生 65,000円
- 学費を1/3減額している学生 50,000円
- 学費を1/2減額している学生 43,000円
- 学費を2/3減額している学生 35,000円
- 学費を全額免除の学生 20,000円

持続化給付金のご相談は日本共産党相談窓口 22-6121へ